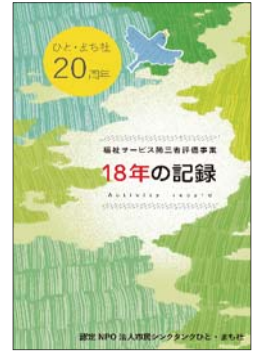


活動報告

○記念集会開催 - 日程を変更して実施します

新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期していたひと・まち社 20 周年記念集会を 9 月 4 日（金）に開催します。ひと・まち社は市民調査に努めつつ、東京都福祉サービス第三者評価機関として 18 年間活動してきました。その 18 年を振り返る記録誌を作成しましたので、皆様に活動を紹介する機会とさせていただきたいと思っております。開催にあたっては十分に空間を保ち、換気に努めますので、皆様、お誘いあわせの上、ご参加ください。準備の都合がありますので、電話またはメールでお申し込みください。（ひと・まち社のメールアドレスは QR コードで読み取ることができます）



ひと・まち社 20 周年記念集会 ～第三者評価事業 18 年を振り返る～

日程：2020 年 9 月 4 日（金）

14：00～16：00 pm

会場：快・決いい会議室 HALL B

（新宿区歌舞伎町 2-4-10 KDX 東新宿ビル 3F）

会費：1000 円

申込 Tel：03-3204-4342 Fax：03-6457-6202

E-mail：npo@hitomachi.org

認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社

新宿区歌舞伎町 2-19-13AKS ビル 501



ひと・まち社 20 周年記念集会
～第三者評価事業 18 年を振り返る～
記録誌 18 年の記録
認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社



○「地域包括支援センターに関する調査報告書 2019 年度」が完成

介護保険改正に伴い実施した 3 年間の継続調査「新総合事業に関する市民の意向調査・自治体調査（2015-2017）」を踏まえ、2019 年度は地域づくりの要となる地域包括支援センターと第 1・2 号被保険者を対象にアンケート調査を実施しました。調査結果では地域包括支援センターは相談事業の多様化から経験豊富な専門職を求めています。第

1・2 号被保険者は生活支援や居場所などを求めています。センターの運営は自治体の財源と介護保険の地域支援事業費により進められます。介護保険の被保険者は自治体です。制度当初に願った「市民が育てる制度」を目指し、調査報告書を地域活動や市民による地域づくりにご活用くだされば幸いです。（お問い合わせは、ひと・まち社まで）

第 19 回総会を開催しました

3 月 15 日に総会を開催し、調査研究活動や第三者評価事業、役員改選などすべての議案が可決されました。2019 年度の調査研究活動は、地域包括支援センターに関する調査報告書を作成し、第三者評価事業では評価室の議論から「ひと・まち社 20 周年 第三者評価事業 18 年の記録」の冊子づくりにつなげることができました。2020 年度は子育て・子育てにかかわる調査を企画し、第三者評価事業は例年と同様の 30 件が受託目標です。任期満了による役員の退任があり、新しい理事 2 名と監事が就任し、新体制で 2020 年度の活動に取り組めます。認定 NPO としては 5 年間の期限（2021 年 10 月 20 日まで）まで、あと 1 年を残すのみです。再度の更新のためにも皆様のご支援、ご寄付のご協力が必要ですので、どうぞ、よろしくお祈りします。

ひと・まち社へのご寄付を引き続きお願いいたします

振込先口座 特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社三菱 UFJ 銀行
新宿中央支店 普通 5298170

2019年度 活動計算書 (1/1～12/31)

科目		金額	
経常収益	受取会費	364,000	
	受取寄付金	421,958	
	第三者評価	14,863,540	
	調査・研究（情報発信）等	1,000,000	
	活動サポート・人材育成	74,892	
	その他	31	16,724,421
経常費用	人件費	3,904,879	
	委託費	5,843,500	
	旅費交通費	1,030,180	
	通信運搬費	418,972	
	消耗品・事務用品費	355,367	
	印刷・広報費	530,329	
	家賃・水道光熱費	1,177,795	
	研修・図書費	60,000	
	租税公課	2,000	
	雑費	88,312	13,411,334
管理費	人件費	192,565	
	その他	175,725	368,290
	当期正味財産増減額		2,944,797
	法人税等		197,000
	前期繰越正味財産		2,233,365
	次期繰越正味財産		4,981,162

編集後記：コロナ禍で、公園の遊具や広場の利用の制限があり、子どもの外遊びが十分にできない状況が続いた。保育園では子どものかみつきが目立っていたが、公園が利用できるようになったことで、緩和されたという。子どもは遊びが命。遊びは、心も身体も育ててくれる。どんな状況でも、子どもが健やかに育つ環境を守りたいと願う。(K)